

## ワカヤマソウリュウ編

## ―実物大の復元骨格を展示中―

現在、地域交流センター（ALEC）で、ワカヤマソウリュウ巡回展を開催しています（7月21日（月・祝）まで）。

この展示会は、和歌山県が実物大の全身復元骨格模型（全長約6m）と生きていたときの姿を復元した生体復元模型（縮尺5分の1、全長約1・2m）を新たに作成し、県内各地で巡回展示しているものです。

ワカヤマソウリュウは、全身のおよそ7〜8割ほどの化石が発掘されましたが、全身復元骨格模型では発見された部分や、他のモササウルス類の化石も参考にしながら、失われていた骨格も復元されています。立体的に組み上げて展示していますので、これま



生体復元模型



実物大の全身復元骨格

での展示に比べてより迫力のある姿を見ていただくことができます。

また、生体復元模型では皮膚や筋肉など、生き生きとしたリアルな姿が表現されていますので、両方の模型を比較しながら、ワカヤマソウリュウが生きていた当時の姿を想像していただければと思います。ご来館の際は、ご見学ください。